

企業情報

デルマ医療合資会社

所在地	神奈川県横浜市南区		
ホームページ URL	http://dermamedical.jp/		
設立年	2002年	業種	製造業
従業員数	3人	資本金	220万円

企業概要

当社は、皮膚科における皮膚がん等の診断に使用する機器として広く利用されているダーモコープを販売する会社です。従来のダーモスコープは観察が主体ですが、当社はデジタルカメラに接続し、皮膚表面や真皮部、カルテ等も連続して撮影することができるダーモスコープを提供する企業です。

自社の強み

自社製品のダーモスコープはデジタルカメラと、検査モジュールとを新規に考案した磁石による固定できるシステムとし、カメラ本体と、検査モジュールの交換が容易となる構造です。検査モジュールの形状を円錐形とし、皮膚に接触するアダプタを使用することで診断する患部の血流観察や皮膚表面反射と、皮膚内部からの真皮反射とをワンタッチ操作で切替え、患部の観察位置や角度を変えず、高い観察精度を有する世界で唯一のダーモスコープを提供しています。現在までに3件の国内特許出願及び1件の国際出願を行っており、医師の意見を展示会等で収集し、その意見を生かした新規ダーモスコープの開発を続けています。

一押し商品

従来の主力商品は、デジタルカメラに検査モジュールを装着し、患部にジェルを塗布して観察するタイプでしたが、昨年度、円偏光フィルターを回転するという簡単な操作で、円偏光フィルターを光アイソレータとして機能させることに成功し、患部からデジタルダーモスコープを離すことなく（同じ患部）、表皮及び真皮の2種類の観察ができ、画像として記録できるタイプを販売しています。観察感度も従来製品比約1000倍であり、臨床に携わる医師からも好評を得ています。

知財総合支援窓口活用の概要（記：窓口担当者）

窓口活用のきっかけ

既に販売を開始していたダーモスコープに、取り付ける新規アダプタについて特許出願したいという相談が最初です。自社の技術を権利化する必要があると認識して、相談窓口を訪問しました。

最初の相談概要

最初はデジタルカメラに取り付けるタイプを、続いてスマートフォンに取り付けるタイプを開発権利化を支援してもらいました。ダーモスコープとしての機能として

- 患者との接触部の部品は滅菌が必須なことからシリコンアダプターを開発権利化
 - 皮膚深部を見るための偏光フィルター取付構造の採用
 - 狭い部所を拡大して観察できるアダプターの開発
 - スマートフォン用の専用アプリの開発
- これらの技術についてPCT出願を含めて権利化を支援していただきました。



その後の相談概要

その後、展示会等での医師の意見を取り入れ、円偏光フィルターとLED照明との組み合わせたダーモスコープを設計・開発し、特許出願（PCT 国際出願を含む）を行われました。

また、医師の希望もあり、40～100倍程度の顕微ダーモスコープの開発を進められています。さらには、ダーモスコープ画面でのスケール付与等、新たな製品開発を精力的に行われています。

窓口を活用して変わったところ

特許申請を窓口を介してPCT出願を含めて特許申請を行い、特許7132464を含めて権利化できました。また、アプリを使って、上記のシステムに遠隔医療が可能なシステムを申請中です。商標についてはハンディダーモという商標を取得し販売に活用しています。ダーモスコープの改良・権利化の可能性についても窓口でいろいろと議論して、示唆をいただきました。

企業からのメッセージ

スマホのダーモスコープはHD-2（ハンディダーモ）は日本で10万以下（従来品の約半額）で発売を開始することができました。また海外はEbayというグローバルな販売サイトでの認証を得られ、米国、欧州、オーストラリアに販売することを予定しています。既に現時点で4台販売済みです。従来のデジカメタイプと比較してハンディダーモは5000万画素と大きく鮮明な画像が得られることから販売増を期待しています。

窓口担当者から一言（氏名：広島 政広）



新商品を考えて、新しい特許出願につなげていくという、良い意味でのサイクルを回すことにより、順調に売上を伸ばすようになってます。カメラの供給等、不安定要素はあるとしても、特許を商品の拡販にうまくつなげていけると思います。